

平成26年度第1回市政モニターアンケート結果

テーマ「子どもの権利」について

1 アンケート実施概要

- (1) 対象 市政モニター 144人
- (2) 回答者数 141人
- (3) 実施期間 平成26年7月15日から8月8日まで
- (4) 目的 児童虐待やいじめなど、子どもの人権・権利の侵害が社会問題となっていることから、相模原市では、虐待やいじめから子どもを守り、子どもが笑顔でいきいきと暮らせる社会の実現に向けて、子どもの権利を保障するための条例の検討や、子どもの権利に関するシンポジウムの開催、「児童に関する権利条約(子どもの権利条約)」の啓発リーフレットの配布などの取組みを進めています。

今回のアンケートは、子どもの権利についての皆様のお考え、ご意見を基に、今後の子どもの権利保障に向けた取組みの参考とするため、ご協力いただきました。

※表、グラフの内の数字は、回答者数を基数とした百分率で表わし、小数点第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならない場合があります。

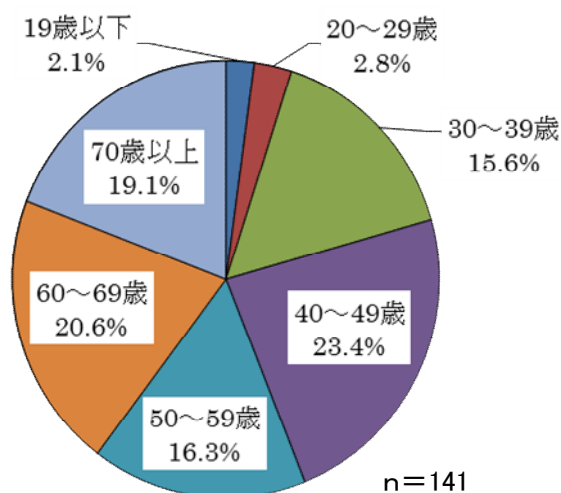
2 各設問と回答状況及び結果概要

【基本的項目についてお伺いします】

問1 あなたの年齢をお伺いします。(回答は1つ)

1	19歳以下	4	40～49歳	7	70歳以上
2	20～29歳	5	50～59歳		
3	30～39歳	6	60～69歳		

選択肢	回答数	回答分布
1	3	2.1%
2	4	2.8%
3	22	15.6%
4	33	23.4%
5	23	16.3%
6	29	20.6%
7	27	19.1%
合計	141	100.0%

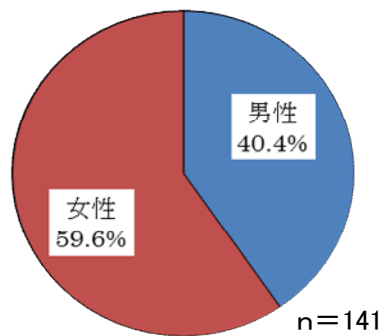


☆ 回答された方の年齢層は以上のとおりです。

問2 あなたの性別をお伺いします。(回答は1つ)

- 1 男性 2 女性

選択肢	回答数	回答分布
1	57	40.4%
2	84	59.6%
合計	141	100.0%

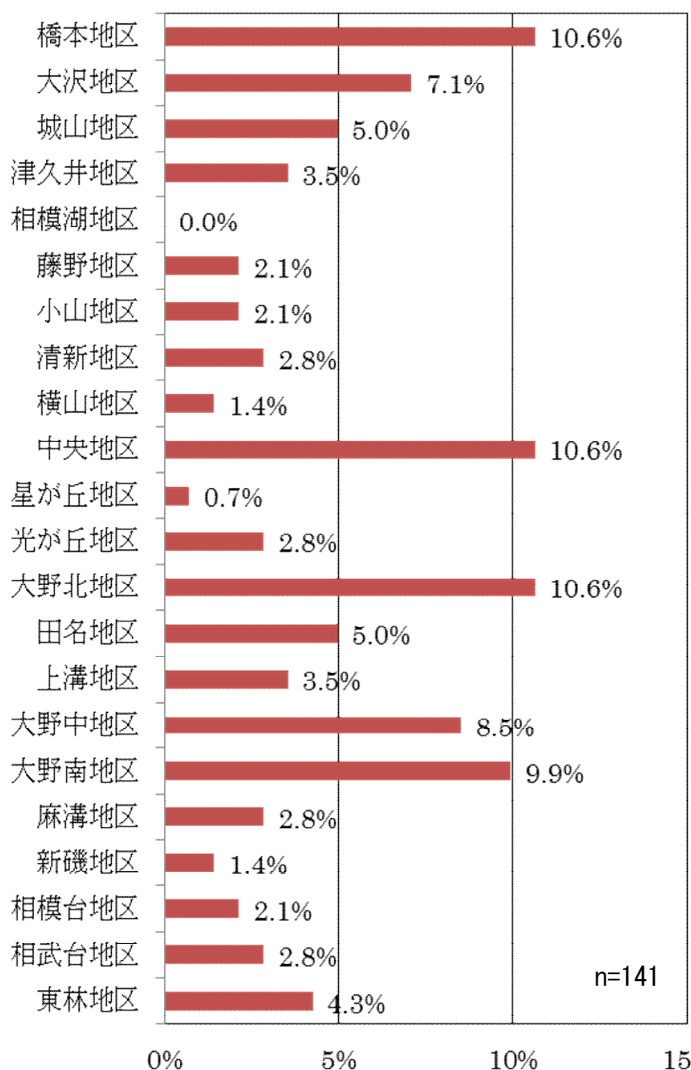


回答された方の性別は以上のとおりです。

問3 あなたのお住まいの地区をお伺いします。(回答は1つ)

- | | | | |
|---------|----------|----------|----------|
| 1 橋本地区 | 7 小山地区 | 13 大野北地区 | 19 新磯地区 |
| 2 大沢地区 | 8 清新地区 | 14 田名地区 | 20 相模台地区 |
| 3 城山地区 | 9 横山地区 | 15 上溝地区 | 21 相武台地区 |
| 4 津久井地区 | 10 中央地区 | 16 大野中地区 | 22 東林地区 |
| 5 相模湖地区 | 11 星が丘地区 | 17 大野南地区 | |
| 6 藤野地区 | 12 光が丘地区 | 18 麻溝地区 | |

選択肢	回答数	回答分布
1 橋本地区	15	10.6%
2 大沢地区	10	7.1%
3 城山地区	7	5.0%
4 津久井地区	5	3.5%
5 相模湖地区	0	0.0%
6 藤野地区	3	2.1%
7 小山地区	3	2.1%
8 清新地区	4	2.8%
9 横山地区	2	1.4%
10 中央地区	15	10.6%
11 星が丘地区	1	0.7%
12 光が丘地区	4	2.8%
13 大野北地区	15	10.6%
14 田名地区	7	5.0%
15 上溝地区	5	3.5%
16 大野中地区	12	8.5%
17 大野南地区	14	9.9%
18 麻溝地区	4	2.8%
19 新磯地区	2	1.4%
20 相模台地区	3	2.1%
21 相武台地区	4	2.8%
22 東林地区	6	4.3%
合計	141	100.0%

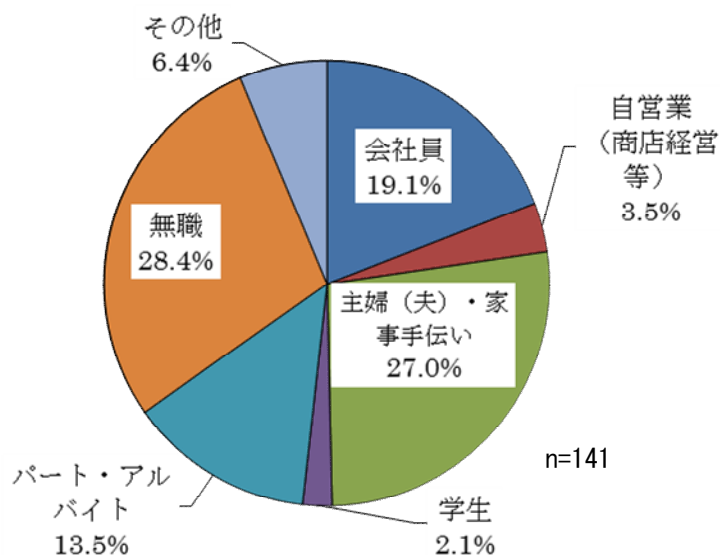


☆ 回答された方のお住まいの地区は以上のとおりです。

問4 あなたの職業をお伺いします。(回答は1つ)

- | | | |
|----------------|-------------|-------|
| 1 会社員 | 4 学生 | 7 その他 |
| 2 自営業 (商店経営等) | 5 パート・アルバイト | |
| 3 主婦 (夫)・家事手伝い | 6 無職 | |

選択肢	回答数	回答分布
1	27	19.1%
2	5	3.5%
3	38	27.0%
4	3	2.1%
5	19	13.5%
6	40	28.4%
7	9	6.4%
合計	141	100.0%

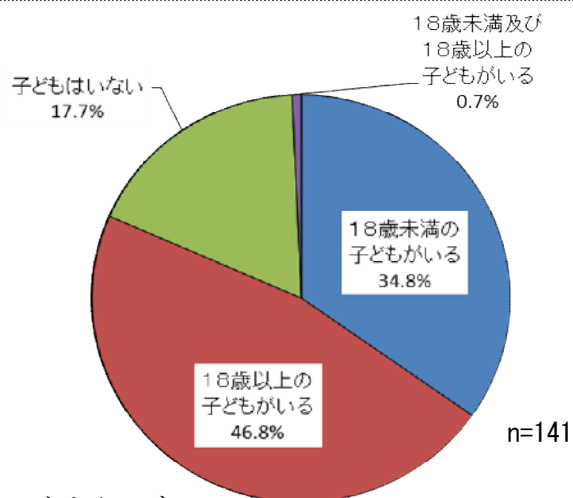


☆ 回答された方の職業は以上のとおりです。

問5 あなたにお子さんはいらっしゃいますか。(回答は1つ)

- | |
|----------------------------|
| 1 18歳未満 (本年4月1日現在) の子どもがいる |
| 2 18歳以上 (本年4月1日現在) の子どもがいる |
| 3 子どもはいない |

選択肢	回答数	回答分布
1	49	34.8%
2	66	46.8%
3	25	17.7%
1・2	1	0.7%
合計	141	100.0%



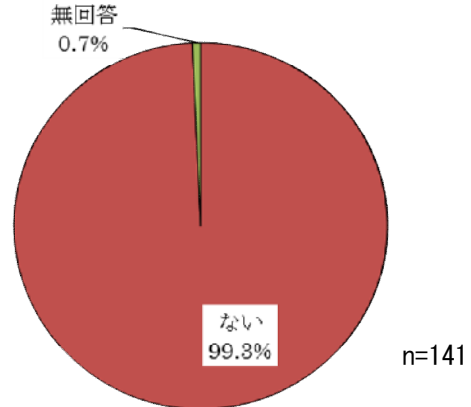
☆ 回答された方のお子さんの状況は以上のとおりです。

【子どもの権利に対するお考え等についてお伺いします】

問6 あなたは、平成23年度から開催している「子どもの権利推進シンポジウム（平成25年度はいじめ防止フォーラム）」に参加したことがありますか。（回答は1つ）

- 1 ある 2 ない

選択肢	回答数	回答分布
1	0	0.0%
2	141	99.3%
無回答	1	0.7%
合計	141	100.0%



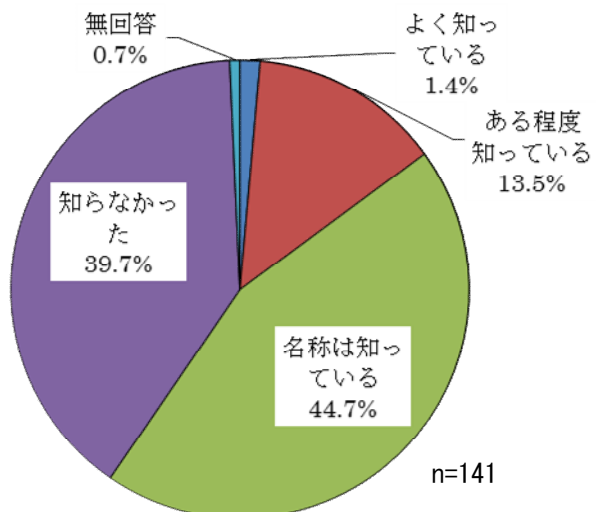
☆ 回答されたすべての方が「子どもの権利推進シンポジウム（平成25年度はいじめ防止フォーラム）」に参加したことはないという結果となりました。

問7 あなたは、「児童に関する権利条約（子どもの権利条約）※」を知っていますか。（回答は1つ）

※児童に関する権利条約とは、1994年に日本で批准（国家として最終的な意思の確認・同意を行うこと）した、基本的人権が子どもにも保障されるべきことを定めた条約です。

- 1 よく知っている 3 名称は知っている
2 ある程度知っている 4 知らなかった

選択肢	回答数	回答分布
1	2	1.4%
2	19	13.5%
3	63	44.7%
4	56	39.7%
無回答	1	0.7%
合計	141	100.0%

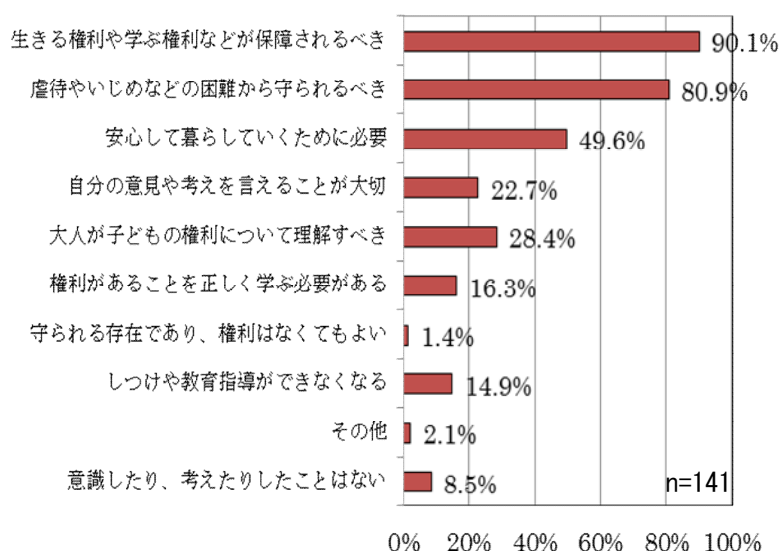


☆ 「児童に関する権利条約（子どもの権利条約）」について、「よく知っている」「ある程度知っている」「名称だけは知っている」が合わせて59.6%という結果となりました。

問8 あなたは、子どもの権利についてどのようにお考えですか。(回答は3つまで)

- 1 子どもにも人権があり、生きる権利や学ぶ権利などが保障されるべきである
- 2 子どもは、虐待やいじめなどの様々な困難から守られるべきである
- 3 子どもたちが安心して暮らしていくために必要である
- 4 子どもが自分の意見や考えを言えることが大切である
- 5 もっと大人が子どもの権利について理解すべきである
- 6 子どもが自分にも権利があることを正しく学ぶ必要がある
- 7 子どもは大人に守られる存在であるので、権利はなくてもよいと思う
- 8 子どもが権利を主張すると、しつけや教育指導ができなくなるのではないかと思う
- 9 その他
- 10 子どもの権利について意識したり、考えたりしたことはない

選択肢	回答数	回答分布
1	127	90.1%
2	114	80.9%
3	70	49.6%
4	32	22.7%
5	40	28.4%
6	23	16.3%
7	2	1.4%
8	21	14.9%
9	3	2.1%
10	12	8.5%



☆ 子どもの権利について考えている上位3項目は、「子どもにも人権があり、生きる権利や学ぶ権利などが保障されるべきである」が90.1%で最も多く、次いで「子どもは、虐待やいじめなどの様々な困難から守られるべきである」が80.9%、「子どもたちが安心して暮らしていくために必要である」が49.6%という結果となりました。

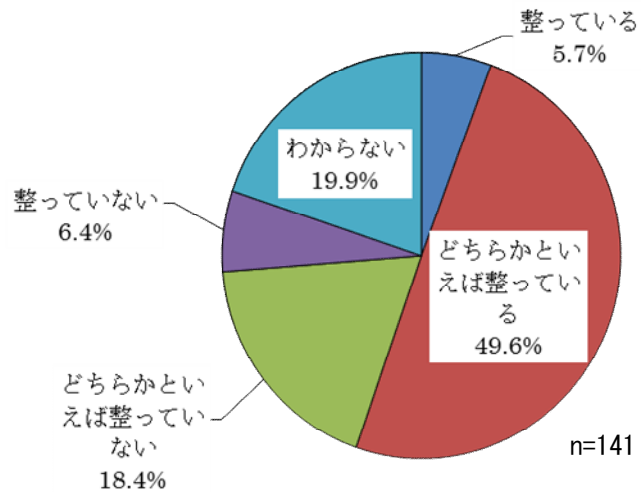
問8 「9 その他」記入欄意見 抜粋

- ゆとり教育といって、子どもを放任しすぎだと思う。
- 現代の大人も社会の子どもと考え、気づばりし、協力すべきと考えます。

問9 あなたは、相模原市では、子どもが子どもらしくいきいきと暮らし、のびのびと成長していきける環境が整っていると思いますか。(回答は1つ)

- 1 整っている
- 2 どちらかといえば整っている
- 3 どちらかといえば整っていない
- 4 整っていない
- 5 わからない

選択肢	回答数	回答分布
1	8	5.7%
2	70	49.6%
3	26	18.4%
4	9	6.4%
5	28	19.9%
合計	141	100.0%



☆ 子どもが子どもらしくいきいきと暮らし、のびのびと成長していきける環境が整っているかについて、「整っている」「どちらかといえば整っている」が合わせて 55.3%、「どちらかといえば整っていない」「整っていない」が合わせて 24.8%という結果となりました。

相模原市子育て応援イメージキャラクター
『はなたん』

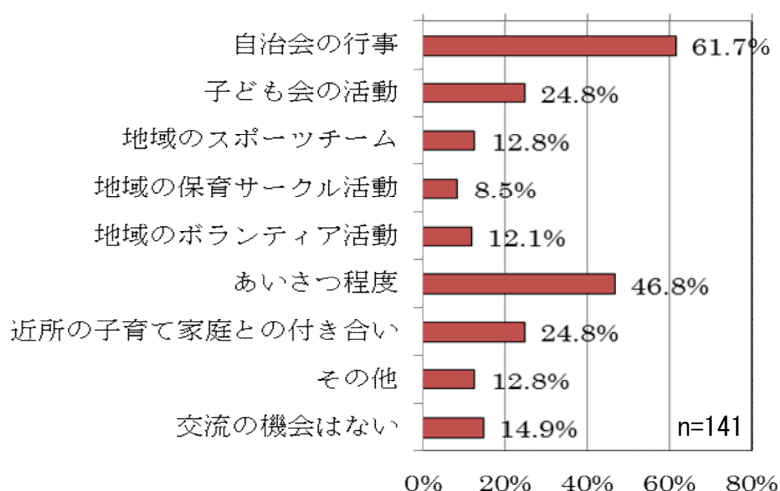


問10 あなたが、地域の子どもと交流する機会として、どのようなものがありますか。

(回答は3つまで)

- 1 自治会の行事(運動会、お祭りなど)
- 2 子ども会の活動
- 3 地域のスポーツチーム
- 4 地域の保育サークルなどの活動
- 5 地域のボランティア活動
- 6 あいさつ程度
- 7 近所の子育て家庭と家族ぐるみの付き合い
- 8 その他
- 9 交流の機会はない

選択肢	回答数	回答分布
1	87	61.7%
2	35	24.8%
3	18	12.8%
4	12	8.5%
5	17	12.1%
6	66	46.8%
7	35	24.8%
8	18	12.8%
9	21	14.9%



☆ 地域の子どもと交流する機会について、上位2項目は、「自治会の行事(運動会、お祭りなど)」61.7%と、「あいさつ程度」46.8%であり、次いで、「子ども会の活動」と「近所の子育て家庭と家族ぐるみの付き合い」が同率の24.8%という結果となりました。

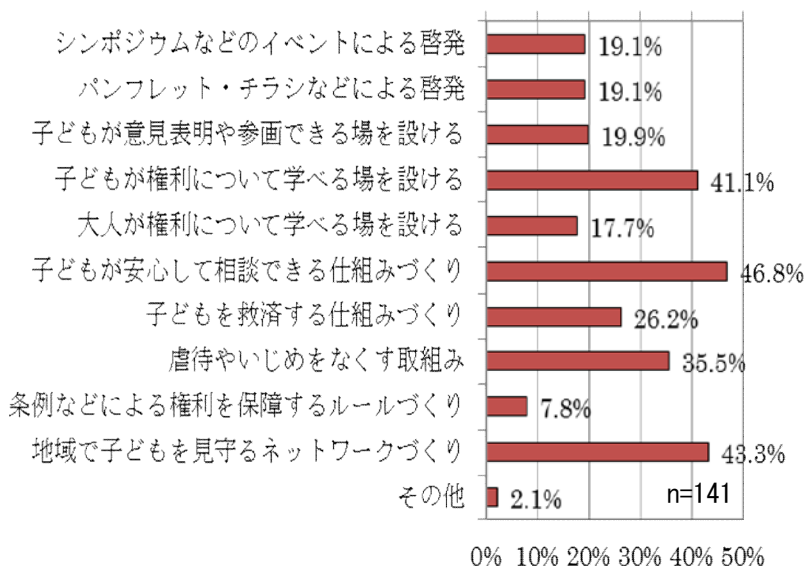
問10 「8 その他」記入欄意見 抜粋

- 学校の登下校のあいさつ
- 学校行事
- 子どもの部活動

問 1 1 あなたは、子どもの権利を保障し、侵害から守るためにはどんな取り組みが必要だと思いますか。(回答は3つまで)

- 1 子どもの権利に関するシンポジウムなどのイベントによる啓発
- 2 子どもの権利に関するパンフレット・チラシなどによる啓発
- 3 子どもが意見表明や参画できる場を設ける
- 4 子どもが権利について学べる場を設け、他者を思いやる心を育てること
- 5 大人が子どもの権利について学べる場を設ける
- 6 子どもが安心して相談できる仕組みづくり
- 7 子どもを救済する仕組みづくり
- 8 虐待やいじめをなくす取り組み
- 9 条例などによる権利を保障するルールづくり
- 10 地域で子どもを見守るネットワークづくり
- 11 その他

選択肢	回答数	回答分布
1	27	19.1%
2	27	19.1%
3	28	19.9%
4	58	41.1%
5	25	17.7%
6	66	46.8%
7	37	26.2%
8	50	35.5%
9	11	7.8%
10	61	43.3%
11	3	2.1%



☆ 子どもの権利を保障し、侵害から守るためにはどんな取り組みの上位3項目は、「子どもが安心して相談できる仕組みづくり」が46.8%で最も多く、次いで「地域で子どもを見守るネットワークづくり」が43.3%、「子どもが権利について学べる場を設け、他者を思いやる心を育てること」が41.1%という結果となりました。

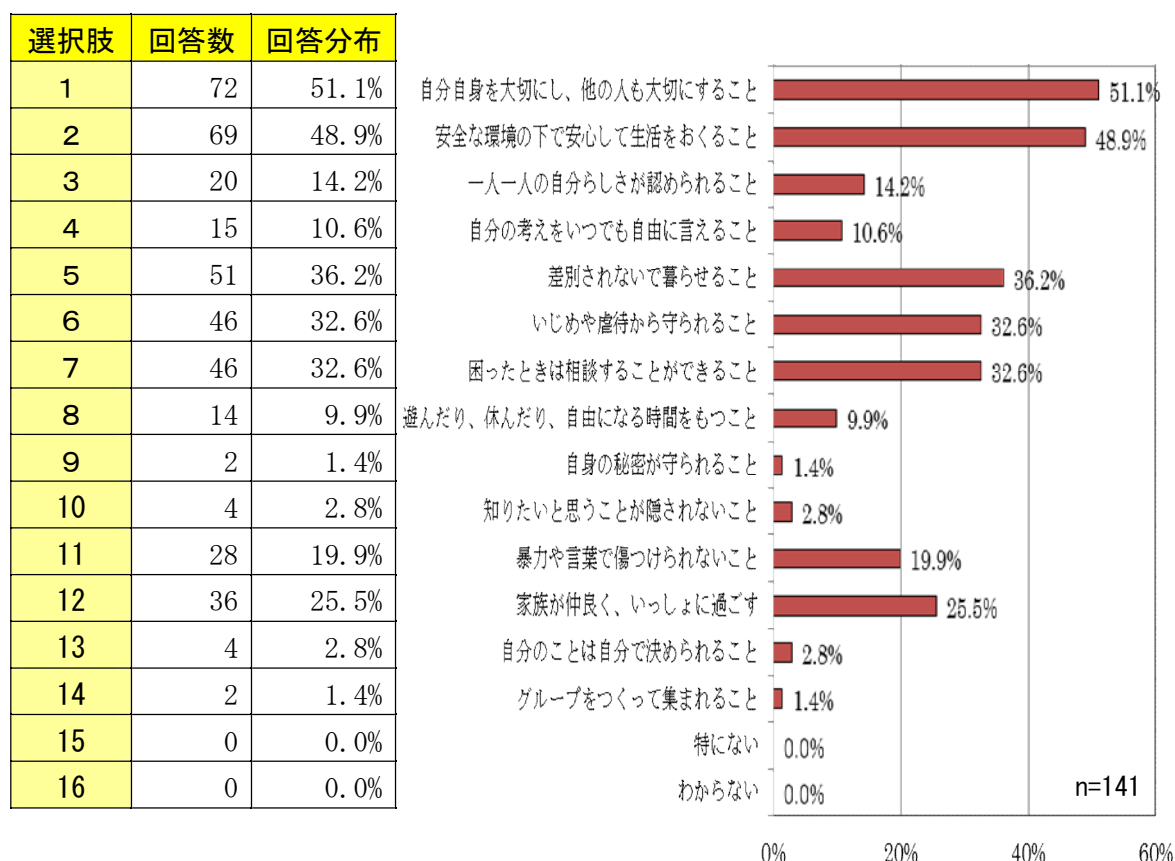
問 1 1 「11 その他」記入欄意見 抜粋

- 子どもは自分だけの子どもではなく社会の子どもです。大人がその事をよく理解する事が大事です。
- 市でバスをチャーターして小、中学生を文化会館にまねいて、音楽会や劇を見せる感じで、いじめや大人からの虐待を考えるイベントを開催したらどうだろうか
- 昔の良き時代、悪いことをすれば他人の子どもでも叱る。いじめ等の現場に出くわせば叱る（悪いことをすれば叱るという前に述べた事と同じ）。

問12 次の子どもの権利の中で、あなたが特に大切だと思うことを選んでください。

(回答は3つまで)

- 1 子どもが自分自身を大切にし、他の人も大切にすること
- 2 安全な環境の下で子どもが安心して生活をおくること
- 3 子ども一人一人の自分らしさが認められること
- 4 子どもが自分の考えをいつでも自由に言えること
- 5 すべての子どもが差別されないで暮らせること
- 6 どの子どもも、いじめや虐待から守られること
- 7 子どもが困ったときは相談することができること
- 8 子どもが遊んだり、休んだり、自由になる時間をもつこと
- 9 子ども自身の秘密が守られること
- 10 子どもが知りたいと思うことが隠されないこと
- 11 子どもが暴力や言葉で傷つけられないこと
- 12 家族が仲良く、いっしょに過ごす時間をもつこと
- 13 子どもが自分のことは自分で決められること
- 14 子どもが、自由な呼びかけでグループをつくって集まれること
- 15 特にない
- 16 わからない



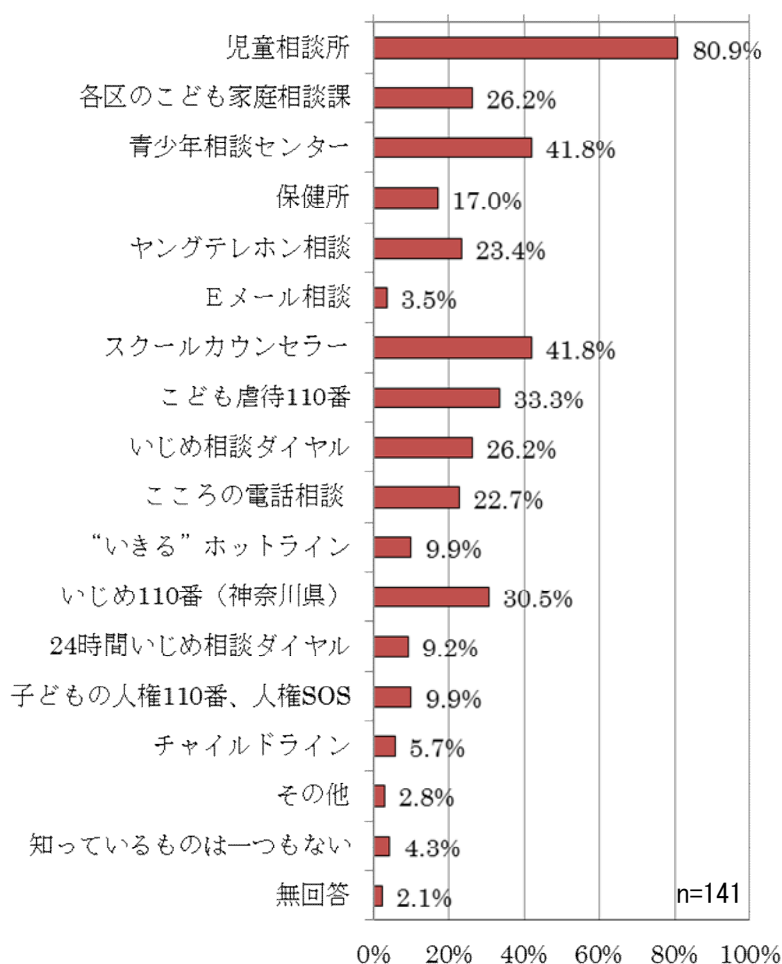
☆ 子どもの権利の中で、特に大切だと思う上位2項目は、「子どもが自分自身を大切にし、他の人も大切にすること」51.1%と、「安全な環境の下で子どもが安心して生活をおくること」48.9%であり、次いで、「すべての子どもが差別されないで暮らせること」が36.2%、「どの子どもも、いじめや虐待から守られること」「子どもが困ったときは相談することができること」が同率の32.6%という結果となりました。

問13 あなたは、子どもに関する相談を受けてくれるところを知っていますか。

(回答はあてはまるものすべて)

- | | |
|---------------|--|
| 1 児童相談所 | 11 “いきる”ホットライン |
| 2 各区のこども家庭相談課 | 12 いじめ110番(神奈川県) |
| 3 青少年相談センター | 13 24時間いじめ相談ダイヤル(文部科学省) |
| 4 保健所 | 14 子どもの人権110番、子どもの人権SOS(ミニレター、eメール)(法務局) |
| 5 ヤングテレホン相談 | 15 チャイルドライン(NPOチャイルドライン支援センター) |
| 6 Eメール相談 | 16 その他 |
| 7 スクールカウンセラー | 17 知っているものは一つもない |
| 8 こども虐待110番 | |
| 9 いじめ相談ダイヤル | |
| 10 こころの電話相談 | |

選択肢	回答数	回答分布
1	114	80.9%
2	37	26.2%
3	59	41.8%
4	24	17.0%
5	33	23.4%
6	5	3.5%
7	59	41.8%
8	47	33.3%
9	37	26.2%
10	32	22.7%
11	14	9.9%
12	43	30.5%
13	13	9.2%
14	14	9.9%
15	8	5.7%
16	4	2.8%
17	6	4.3%
無回答	3	2.1%



☆ 子どもに関する相談を受けてくれるところとして「児童相談所」が80.9%と最も多く、次いで「青少年相談センター」「スクールカウンセラー」が同率の41.8%という結果となりました。

問13 「16 その他」記入欄意見 抜粋

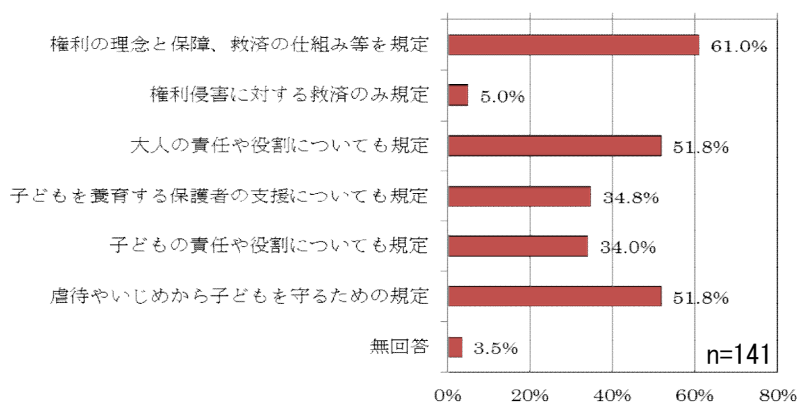
- すべて聞いたことはあるが内容までは知らない
- 学校ごとに、虐め相談チームを、民間のボランティアで作るべき
- 子ども自ら相談する力を持つことが大事
- 子ども電話相談室（TBSラジオ）
- 民生委員

問14 市では、子どもが生き生きと、自分らしく成長・発達していくことができるよう支援する仕組みとして、子どもの権利の保障を目的とした条例の制定に向けた検討を行っています。

あなたは、相模原の子どもたちのために、どのような内容の条例が良いと思いますか。
(回答はいくつでも)

- 1 子どもの権利の理念と保障、救済の仕組みなどを規定した総合的なものが良い
- 2 子どもの権利侵害に対する救済だけのものが良い
- 3 大人の責任や役割についても規定があると良い
- 4 権利主体となる子どもを養育する保護者の支援についても規定があると良い
- 5 権利保障だけでなく、子どもの責任や役割についても規定があると良い
- 6 虐待やいじめの防止など、子どもを守るためのものが良い

選択肢	回答数	回答分布
1	86	61.0%
2	7	5.0%
3	73	51.8%
4	49	34.8%
5	48	34.0%
6	73	51.8%
無回答	5	3.5%



☆ どのような内容の条例が良いのかについての上位3項目は、「子どもの権利の理念と保障、救済の仕組みなどを規定した総合的なものが良い」が61.0%で最も多く、次いで「大人の責任や役割についても規定があると良い」「虐待やいじめの防止など、子どもを守るためのものが良い」が同率の51.8%という結果となりました。

問15 子どもが安心して自分らしく生き生きと暮らしていくために、必要だと思うことや、大人のあるべき姿など自由に書いてください。(自由記載)

◆主な意見

《家庭のあるべき姿について》

<ul style="list-style-type: none"> 子どもは親の所有物ではない。一個の人格を持った存在であることを親は自覚し、家庭内での躰はもちろん、他人に迷惑をかけないことや、相手のことを思いやる気持ち、自分勝手では世の中生きていけないことなど、きちんと家庭内教育をする。
<ul style="list-style-type: none"> 子どもを産むだけでなく、きちんと子どもの性格、成長力を助け、子どもの成長とともに親も成長し、社会の一員として他の親との協力関係、公的な機関との連携のうちに子育てを進めていくことが必要。
<ul style="list-style-type: none"> 「三つ子の魂百まで」ということわざのとおり、3歳までに子どもの躰が決まるようである。子どもには、やっても良いこと、やってはならないことをしっかり教え、また、時として我慢をするということも大切だと思う。
<ul style="list-style-type: none"> 子どもを画一的に指導するのは間違い。一人ひとりの個性、素質を見出して伸ばしていくことが大切である。各家庭でしっかりと躰を身につけさせること。
<ul style="list-style-type: none"> 子どもを持つ親としての責任や役割も深く認識する事である。子どもは親の姿勢や態度を映す鏡であり、敏感に社会情勢や家庭環境に影響を受けるものであると思う。
<ul style="list-style-type: none"> 子どもに関心をもって、身近な家族からコミュニケーションを大切にする。
<ul style="list-style-type: none"> 日々、子どもときちんと話せる家庭環境をつくり、何かあったらまず家族に相談できるような流れをつくれるといいと思う。
<ul style="list-style-type: none"> 家族が仲良く、一緒に楽しく話し合いながら過ごす時間を極力持つこと。
<ul style="list-style-type: none"> 子どもと会話し話を聞く、言うことを聞かないからといってすぐ暴力をふるわない、子どもが助けを求めてきたら少しでも手を差し伸べる。

《大人のあるべき姿について》

<ul style="list-style-type: none"> 昔のような近所付き合いが希薄化しているので、子どもを社会で育てるという意識が低いように思う。我が子だけでなく、どの子どもでも目を配るようにしていけたら良いと思う。
<ul style="list-style-type: none"> 子どもが自由に考えて行動することが出来るように、子どもが困った時、迷った時などに他の人に知れないように、自由に相談できる場所の提供が必要で、大人はきちんと人間として子どもに向き合って、話し合いができるようにすることが大切ではないかと思う。
<ul style="list-style-type: none"> 大人の押しつけで子どもに接しないこと、子どもの立場に立って考えること、気持ちに余裕を持って子どもと接すること。
<ul style="list-style-type: none"> 差別やいじめは大人から見習っている事だと思う。まず大人が良い見本になってあげたら効果的だと思う。
<ul style="list-style-type: none"> 子どもが安心して自分らしくというのは、大人にも返ってくることと思う。大人がいい町(街)づくりを考えて行きたいと思う。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 大人は子ども達に対し、過度な接し方はよくはないが、近くでも遠くでも見守る姿勢が大事だと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもが子ども自身を守ることは非常に困難であると思うので、まず大人が子どもを守らなければならないことを自覚することが必要だと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 大人はまず見守る事が大事だと思う。何でも手を貸すのではなく、困っている状況にのみ手助けするのが良いと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 「権利」、「権利」といわれるが、権利には守らなくてはいけない義務が伴うのだということをもまずは大人がよく学習すること、そして子どもにもそれを教え、分からせる事が大事だと思う。

《地域での取り組みなどについて》

<ul style="list-style-type: none"> ・ 他人の子どもに対しても関心を持つ環境を大人が作る努力が必要。お年寄り子ども達がふれ合う機会を小さな単位で作って、親しみを持って地域での顔見知りの人達が多くなるような計画も良いと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・ まず子どもは自分だけの者ではない事を大人は認識する必要がある。一家庭だけではなく地域全体の宝だとの認識を市民が持つ必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども達が大切だということがわかる社会であってほしい。そういう事を大人が、子ども達にわかりやすく、行動することが大切と思う(時には厳しく地域ぐるみで、危ないことをしている子どもがいたら教える、見守る等)。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域全体で子どもを見守ることが一番だと思う。やはり自治会や子ども会は個人的には入っていた方が良いと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育てをしていて感じる事は、子どものいる家庭とは、顔見知りになれるが、子どもがいない家庭とは接点がないので、地域ぐるみで子育てが出来る環境にして欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもが自分の意見を尊重し自由な生活と教育が受けられる環境を周りの大人が作っていかなければならないと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもたちが、もっと自然と触れ合える機会を増やせるよう大人たちが支援できると良いと思う。

《行政(学校や市役所など)のすべき対応について》

◇施策に関する事。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の大人が、子どもを見守れるような仕組み、活動ができるよう市がボランティアを支援するような方策を考えてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 住民が意識するように広報紙やホームページ等で啓発活動を積極的にするべき。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 格差社会が存在する中で、特にこれからの将来がかかる低学年の子どもには、国策や県対応の公での総合的な援助が必要と考える。

<ul style="list-style-type: none"> 子どもを増やす努力と、生まれた子どもを大切に育てること、及び子どもが生きて行く上で、のびのびと自分の意思で生き、かつ問題あると思ったときに気軽に相談できる制度・施設等の整備が急務であると思う。
<ul style="list-style-type: none"> 学校でいじめがある場合、担任の先生がクラス全体の様子をよく把握し、弱者の事をよく見てあげて、話せるように配慮することが良い。
<ul style="list-style-type: none"> 子どもの権利を保障とか条例の制定などしても何も変わらないと思う。こうしている今だって、虐待されたりしている子どもがいる。健診に来ない人の確認、幼稚園、保育園、小・中学校は先生達への確認を一人ひとり行うことも一つの方法ではないかと思う。
<ul style="list-style-type: none"> 市として、子どもの権利の保障と救済を目的とした条例を早急に成立実施に移すことが必要。
<ul style="list-style-type: none"> 基本的人権が子どもにも保障されるべきことを定めた「子どもの権利条約」に基づき、今起きている児童虐待やいじめなどの子どもの人権、権利の侵害の社会問題に対応するため「地域の子どもと交流する機会をとらえた地域活動」、「啓発活動（シンポジウムなどのイベント、パンフレット、チラシの配布等）」、「子どもの保障を目的とした条例の制定」が必要と思う。
<ul style="list-style-type: none"> 地域での子どもに対する取り組みは、親が必要とする時に、子どもを預けられるシステムがあれば良いと思う。働いていない親も、チョット子どもを預ける事で、自分のリフレッシュにつながり子どもと良い環境で接する事が出来ると思うので、そんなシステムがあれば良いと思う。
<ul style="list-style-type: none"> 自分の子どもの周囲では、いじめがあるとは聞かないが、時々いじめの相談先の電話番号の紙を学校で配られている。いじめのない段階からいじめがあつたら相談できる場所があることを子どもがわかっていることが大切だと思う。

◇教育に関すること。

<ul style="list-style-type: none"> 学校、自治会、市、県などが連携して子どもの人権問題に取り組んで欲しいし、それを子どもに教育する場ももう少し設けてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> 子どもが生まれた親に対して、どのように育てていくのかを教育する機会を設けてみることはどうか。
<ul style="list-style-type: none"> 学校は勉学の間であって、教師に躰やマナーを担当させるべきではない。
<ul style="list-style-type: none"> 子どもに権利を与えることは大事だが、合わせて責任も持たせなければいけないと思う。中途半端に権利を与えることは教育にはならないし、権利ばかり主張されても困るので、どこまで子どもの権利を認め、認めないのかが大事だと思う。各家庭のルールもある程度は遵守する必要があるため、大人（家庭）へのガイドラインも周知されるべきだと思う。

◇環境に関すること。

<ul style="list-style-type: none">市役所として、制度、生活環境（安全な生活道路、通学道路、幼児や児童にとって安全で楽しい公園など遊戯環境など）、保育園、幼稚園、小中学校、など、総合的に改善をする必要がある。
<ul style="list-style-type: none">遊び場（公園）の確保
<ul style="list-style-type: none">子どもの遊び場がどんどん減っている。広場がなくなったり、公園があっても野球やサッカーが禁止されていたりして、伸び伸びと遊べない。子どもの遊び場がもっと必要だと思う。
<ul style="list-style-type: none">昔は、心と体を育てる「空き地」が多くあった。現在はスポーツクラブでないとボール遊びが出来る場所が少ない。人為的に「空き地」を設け子どもが屋外で遊べる環境を作る。
<ul style="list-style-type: none">子ども時代に必要な自然とのふれ合いを充実させる。遊びの中からの学びが必要と感じている。
<ul style="list-style-type: none">自然と沢山ふれあう事が必要だと思う。ただ遊ぶのではなく、農業のような働く事が必要だと思う。パソコンとか携帯にしばられている感があり、かわいそうにも思える。他に目をむける事が出来ない今の子はかわいそうだと思う。
<ul style="list-style-type: none">地域の防犯強化が必要。
<ul style="list-style-type: none">何事にも心配なく生き生きと暮らせる社会。地域の安心、安全な街づくり。

《その他》

<ul style="list-style-type: none">物が溢れすぎている時代でもあると思うので、子どもに何でも与えるのではなくある程度、線引きや管理が必要ではないかと思う。（携帯機器など）
<ul style="list-style-type: none">子どもにとって「生きる権利」が一番重要だと考える。
<ul style="list-style-type: none">「家庭の日」家族へのメッセージなどの企画は有効な良策であり、市民に広めるべき。市民憲章を日常の暮らしの中に意識的に活かせるよう周知徹底のメッセージを送り、心豊かな市民の醸成を図る。心豊かな社会は子どもの人権、権利の侵害など起こり得ないと思う。